

## 抄読会について～しばし傾聴して自らを研ぐ～

「朝の忙しい時に…」「仕事を離れて…」

「まとめて話すのに大変な時間をとる…」

「家に迄持って帰って…」

「いっそ止めてしまったら…」

毎週火曜日の朝の抄読会について上記のような声が聞かれます。何だかマンネリにも思われますが、抄読会のポジティブな面を考えてみてはいかがでしょうか？

①毎週決まった時間に多くの職員が顔を合わせて、

「おはようございます」の挨拶がかわせる。

②新入職員の素顔を拝見でき、お話が聞ける。

③新しい知識や情報が超短時間で得られる。

④多くの人の前でお話ができる。

⑤院内のホットな感染情報、水情報が得られる。

他にももっともっとあるのではないのでしょうか？

毎週火曜日の抄読会は王子病院で30年以上に亘って続けられています。3～5分に要領よくまとめて、他人のお話にも耳が傾けられる楽しい抄読会にはいかがですか？

新しい職場である相生RCではいかがでしょうか。

平成20年6月30日

理事長 市丸 喜一郎